

## コスタリカの旅 2012年4月15日(日) 5日目

### モンテベルデ自然保護区にて鳥や花など自然観察ツアー

サンホセからバスで約4時間ほどの北西に位置する場所にある自然保護区。鳥類はとても多く、400種類以上が確認されている。又、古代マヤの聖鳥でグアテマラの国鳥にもなっているケツアルが見られることでも知られており、野鳥愛好家の憧れの的になっている場所。

1万1千ヘクタールの森は熱帯雲霧林である。熱帯雨林との違いは、熱帯雨林は陸地であり木々が密集し暗く閉じている。それに対し、熱帯雲霧林は、熱帯であるが高度があり、地面まで光が届くので明るい。コスタリカでは、4月にカリブ海側から熱せられた水分が上昇し中央の山で雲霧となる。

#### 雲霧林の生物

着生植物・・・1本の木に600種の植物が着生することがある。

① 着生(根は地面から出て自身で栄養補給) ② セミ着

③ 寄生 ④ つる性 例として、絞め殺しの木があり、

60年位で中の木が枯れる。

グアナカステの樹 日立のCMの「この樹何の樹、気になる

樹」に似ている。見た目も大きさもその存在感もそっくり。同一種ではないが近い種類。

#### 代表的な鳥

ケツアル ガイドのふたりが一番時間をかけて説明したり

望遠鏡で見せてくれた。又、雄・雌で半年かけて子育てをする。雄の方が派手でブルーの背羽根・赤の胸羽根・長い尾羽根を持つ。手塚治虫の「火の鳥」のモデルでもある。

ハチドリ 28種類いる。蛍光色で光の当たり具合で青緑

時には紫色もあり。自分の体重の倍の蜜を必要とする。一秒間に60~80回羽根を動かす。

バフムジツグミ コスタリカの国鳥。小さくて可愛い声で鳴く。雨が降るのを鳴いて知らせるそうだ。色は、バフ色(黄褐色)であまり美しいとはいえない。

## 植物・花

グアリア・モラダ コスタリカの国花・2~3月の乾季にしか咲かないがピンク色したランの一種で可愛い花。

エコリアの種 バナナの種類で変型ガク 赤色。目立ってハチドリ等が蜜を吸う。

パカイヤー オレンジ色に小さな実。鳥が食べる。人間の心臓の薬(?)

他に、ベコニア・貧乏人の傘・象の耳・赤き唇など。

## コーヒー農園・ブリット農園

中米コスタリカの首都サンホセから、北西に車で約40分の距離にあるエレディアという町にあり広大な敷地内には焙煎工場、有機コーヒー農園、劇場、喫茶室、アウトレット・ショップがある。世界一美味しいと言われるコスタリカコー

ヒーだが、そのコスタリカで一番高級でおいしいとされているのがbritt coffee。そこを見学し、買い物(勿論、コーヒーだ。)をした。

## コーヒーが美味しい理由には

- ・ 1820年代にコロンビアから入ってきたアラビカ種100%の栽培
  - ・ 土壌が火山灰で有機物があり水はけが良い
  - ・ 標高1200~1700mの熱帯の高地
  - ・ 熱帯気候はコーヒーベルト地帯と言われ気温22℃
  - ・ 手摘みであり赤い熟した実のみを収穫
- 等があげられる。

課題を持って旅ができ又、無事帰国できたことはとても良かったです。御一緒に旅をすることで更に皆様と仲良く又、理解し合える仲間になれ有意義な旅になりました。感謝します。

佐藤美美子 ・ 宮 雅江